

特別の教科 道徳

【道徳科の見方・考え方】

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めること。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

道徳科 小学校

1 教師の明確な指導観

- ・授業構想の筋道である「価値観→児童観→教材観」を明確にします。
- ・はじめに、学習指導要領の内容項目を踏まえ、特に指導が必要な道徳的価値を明らかにします。(価値観)
- ・次に、本時の内容項目に関わって、日常の指導による児童のよさを明らかにします。(児童観)
- ・さらに、価値観や児童観を踏まえ、発問や指導方法の工夫など、教材活用の工夫点を明らかにします。(教材観)

2 道徳科の目標を踏まえた学習指導過程

- ・価値理解・人間理解・他者理解といった道徳的諸価値を理解するための発問を意図的・計画的に位置付けます。
- ・読み物教材の登場人物に共感するなど、道徳的価値を自分との関わりで考え、自己理解を深められるようにします。
- ・多様な価値観の存在を前提として、他者と対話したり協働したりしながら、物事を多面的・多角的に考え、自分の考えを深め、判断し、表現することができるようにします。
- ・性急に態度の変化を押し付けることなく、一人一人が、自分の生き方について考えを深められるようにします。

3 年間指導計画に基づいた教材の活用

- ・主たる教材として教科書を使用します。また、地域に根ざした郷土資料など、多様な教材を併せて活用します。
- ・教科書や補助教材等が、学習指導要領の内容項目のどの部分に対応するのかを整理した上で、年間指導計画を作成し活用します。

道徳科 中学校

1 教師の明確な指導観

- ・授業構想の筋道である「価値観→生徒観→教材観」を明確にして指導します。
- ・はじめに、学習指導要領の内容項目を踏まえ、特に指導が必要な道徳的価値を明らかにします。(価値観)
- ・次に、本時の内容項目に関わって、日常の指導による生徒のよさや課題を明らかにします。(生徒観)
- ・さらに、価値観や生徒観を踏まえ、発問や指導方法の工夫など、教材活用の工夫点を明らかにします。(教材観)

2 道徳科の目標を踏まえた学習指導過程

- ・価値理解・人間理解・他者理解といった道徳的諸価値を理解するための発問を意図的・計画的に位置付けます。
- ・読み物教材の登場人物に共感するなど、道徳的価値を自分との関わりで考え、自己理解を深められるようにします。
- ・多様な価値観の存在を前提として、他者と対話したり協働したりしながら、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自分の考えを深め、判断し、表現することができるようにします。
- ・性急に態度の変化を押し付けることなく、一人一人が、人間としての生き方について考えを深められるようにします。

3 年間指導計画に基づいた教材の活用

- ・主たる教材として教科書を使用します。また、地域に根ざした郷土資料など、多様な教材を併せて活用します。
- ・教科書や補助教材等が、学習指導要領の内容項目のどの部分に対応するのかを整理した上で、年間指導計画を作成し、計画に基づいて使用します。

指導の一層の充実に向けて

- ・評価については、生徒一人一人の人間的な成長を見守り、生徒自身の自己のよりよい生き方を求めていく努力を評価し、それを勇気付けましょう。
- ・授業における指導のねらいとの関わりにおいて、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を様々な方法で捉えて生徒の成長を促すとともに、自らの指導を評価し、改善に努めましょう。